

(参考) ミゾゴイ及び猛禽類の生態等 (出典:「レッドデータブックあいち2009」など)

① ミゾゴイ

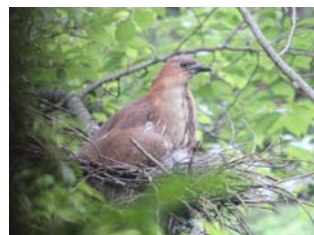
ランク: 環境省レッドリスト: 絶滅危惧ⅠB類  
愛知県レッドデータブック: 絶滅危惧ⅠB類

分類: サギ科

形態: 全長約49cm。上面は赤褐色、下面は淡黄褐色で黒褐色の縦斑がある。

分布: 日本には3月下旬から4月上旬に渡来し、本州、四国、九州で繁殖、冬期は、南西諸島、台湾、中国南部などで越冬する。

生態: 沢のある薄暗い混交林に生息し、沢の上など下部に空間のある枝に営巣する。サワガニ、カエル、魚類、昆虫類を捕食する。警戒時には、正面を向きくちばしを上に向けて体を真っすぐ伸ばす擬態を行う。4月上旬から5月上旬にかけて夜間にポォーッ、ポォーッと鳴く「さえずり期」がある。



② サシバ

ランク: 環境省レッドリスト: 絶滅危惧Ⅱ類  
愛知県レッドデータブック: 絶滅危惧Ⅱ類

分類: タカ科

形態: 全長47~51cm。翼は長くてやや細い。成鳥は、頭から背にかけて赤みのある褐色で、腹に茶褐色の横斑、喉の中央に明瞭な縦線が1本あり、目は黄色。

分布: アムール地方南部、ウスリー地方、中国東北部、朝鮮半島北部、および日本で繁殖し、南西諸島、台湾、中国南部、ミャンマー、インドシナ、マレー半島、フィリピンなどで越冬する。

生態: 本州には3月下旬に渡来し、9月から10月にかけて越冬地へ渡去する。平地から低山帯に生息し、アカマツ林を含む雑木林またはスギ・ヒノキの植林地などで繁殖する。



③ ハチクマ

ランク: 環境省レッドリスト: 準絶滅危惧  
愛知県レッドデータブック: 絶滅危惧Ⅱ類

分類: タカ科

形態: 全長57~60.5cm。翼は長くて幅広い。羽色は、淡色型、中間型、暗色型とバリエーションがあり、さらに雌雄や年齢で異なるため複雑である。

分布: ヨーロッパから小アジア、バイカル湖を経てロシア東北部、中国東北部、日本、インドから東南アジアにかけて繁殖し、アフリカ、東南アジアで越冬し、全6亜種に分けられる。

生態: 本州には5月上旬に渡来し、9月から10月にかけて越冬地へ渡去する。主な生息地は針広混交林を含む丘陵地で、アカマツやナラ類などの樹上に営巣し通常2卵を産む。



④ オオタカ

ランク: 環境省レッドリスト: 準絶滅危惧  
愛知県レッドデータブック: 準絶滅危惧

分類: タカ科

形態: 全長は雄が47~52.5cm、雌が53.5~59cm。成長は頭部から背と翼上面にかけて暗青灰色で、白く明瞭な眉斑があり、下面は白色で胸および脛から腹にかけて黒褐色の細かい横斑がある。

分布: ユーラシア大陸と北アメリカ北部に広く分布し、7~10亜種に分けられ北方のものは冬期に南へ移動する。

生態: アカマツなどの営巣に適した高木を含む森林と、農地などの開けた場所がパッチ状に存在する環境などに生息し、主に鳥類、時に小型の哺乳類を捕食する。



\* ランクの評価区分基準

- ・絶滅危惧ⅠA類: ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種
- ・絶滅危惧ⅠB類: ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種
- ・絶滅危惧Ⅱ類: 絶滅の危険性が増大している種
- ・準絶滅危惧: 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息状況の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種